

case

## 福祉

県中児童相談所 白河相談室

(平成24年度採用)

私は

走ること

が好き!



## わたしを表すキーワード

5

keyword 01

## #みんなで協力

児童相談所では所内の職員、他の機関と連携、協力して業務にあたります。私も日々、情報共有を密にすることを心がけています。

keyword 02

## #走ること

休日や仕事終わりには、趣味のマラソンを楽しんでいます。走ることでリフレッシュでき、体力や気力も付いて、仕事の原動力になっています。

keyword 03

keyword 04

## #旅行

## #一つずつ

keyword 05

## #頑健

## 略歴

H24～H26 中央児童相談所 一時保護課  
 H27～H30 県中児童相談所 相談判定課  
 H31～現在 県中児童相談所 白河相談室

## みんなが仲良く、幸せに暮らすために

児童相談所は、18歳未満の子どもに関する様々な相談に応じる機関です。私は児童福祉司として主に子どもの保護者と面接し、関係機関と連絡、調整しながら、子どもと保護者が安心して生活できるよう、相談援助業務を行っています。

保護者と問題解決の方法を一緒に考えていく中で、子どもと保護者が仲良くできる時間が増えてくると、とてもやりがいを感じます。

## 県職員を目指した理由

東日本大震災が発生した時には福島県外で生活していました。被災した福島県の現状を目の当たりにして、大学で学んだ福祉に関する知識を福島の復興に活かしたい、また、役に立ちたいと思い、福島県職員を志しました。



## とある一日のスケジュール

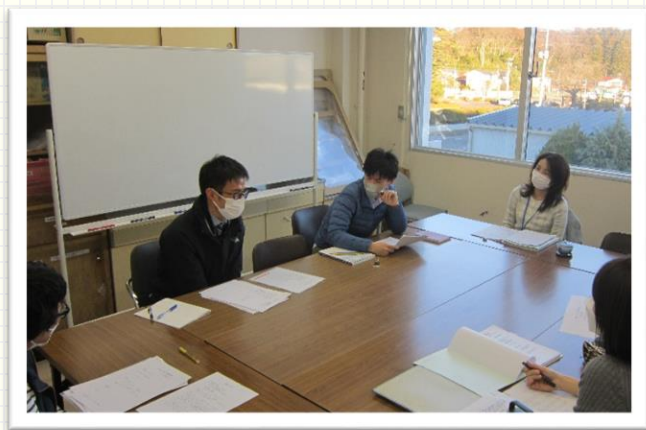
8:30	始業	13:00	学校・市町村へ連絡 記録作成
9:45	町役場訪問 打ち合わせ	14:30	来所した保護者との面接
10:00	相談者宅の自宅の掃除 の手伝い	16:00	ケース検討
11:30	帰庁	16:30	記録作成
12:00	昼休み	17:15	終業

## 印象に残っている経験・エピソード

不登校で引きこもりだった中学生児童のことが印象に残っています。定期的に保護者や児童と面接を重ねていく中で、児童が身なりを整えて外出もできるようになり、高校にも入学できました。高校では友達もでき、無事卒業を迎えて自立する姿にはとても感動しました。



## 福島県職員として、実現したいこと・目標としていること



↑所内でのケース会議

相談者が困った時に頼ってもらえるような存在になることを目指しています。相談者が誰かに相談し、困ったことをみんなと一緒に考えていく中で、自分たちの生活状況や、親子関係が少しでも良くなったと感じていただけるよう日々業務にあたっています。

(令和5年3月現在)